

## グローバル・ジャーナリズムの報道傾向

- 鈴木 弘 貴 (十文字学園女子大学)
- 金山 勉 (上智大学)
- 竹村 朋子 (上智大学大学院 院生)

### 【キーワード】 グローバル・ジャーナリズム、報道傾向、内容分析

【研究の目的】 本研究は、日本マス・コミュニケーション学会 2006 年度秋季研究発表会で主催したワークショップ、『「グローバル・ジャーナリズム」は可能か—欧米とイスラーム世界のメディアからナショナルな視点を超えるジャーナリズムを考える—』で提示し、議論検討された問題関心に基づくものである。

ニュース全般に関わる社会集団の基本的な単位（ユニット）は長らく国家・国民（以下、ナショナルと記す）であった。それゆえ「国際ジャーナリズム」ないしは「国際コミュニケーション」研究の分野では、ナショナルな受容者を対象に、ナショナルな視点に基づいたニュース制作を前提にしたニュースの国際的な流通現象、または国外ニュースのナショナルな解釈枠組みの研究が主流であった。しかし、科学技術の発展の後押しもあり、90 年代後半から国境を越えた受容者を対象とするジャーナリズム、いわゆる「グローバル・ジャーナリズム」活動がみられるようになった。ここで生じられる問題は、こうした「グローバル・ジャーナリズム」は、「グローバルな受容者」を対象に「グローバルな視点」でニュースを生成しているのかという点である。もし、「グローバルな視点」でニュースを生成することが可能ならば、それはどのようなものをさすのか。またもし不可能とすれば、現時点における「グローバル・ジャーナリズム」の正体とはいったいどのようなものを明らかにする必要がある。

こうした問題意識のもと、本研究グループはグローバル・ジャーナリズムの活動をしているとみられる 3 つの地域のテレビ局によるニュースについて内容分析を行い、またこの分析結果をもとに編集担当者・記者への聞き取り調査を行うことで「グローバル・ジャーナリズム」の実相を把握することとした。

【研究の方法】 BBC-World(BBCW)、CNN International(CNNI)、Channel News Asia、Al-Jazeera、Euronews の 5 局を対象に 2006 年 9 月と 10 月の 9 日間のニュース番組を録画し、内容分析を行った。ニュース総件数 508 件について、①ニュース・ジャンル、②「国際機関」に関連したニュースであるかどうか、③「宗教」に関連したニュースであるかどうかの 3 項目をコーディングし、カイ二乗検定で各テレビ局の報道傾向に差異があるどうか検定を行った。その上で各局の報道傾向を検討した。

**【得られた知見】** カイ二乗検定の結果、ニュース・ジャンルをはじめとするすべての項目に関し、5%の有意水準で帰無仮説が棄却された。このため各テレビ局の報道傾向には差異があることが証明された。ニュース・ジャンルに関してみると、Al-Jazeera は経済関連と政治関連のニュースで独自の傾向を示している。Al-Jazeera 以外の局では、経済関連報道がニュース全体の約 20%を占めているのに対し Al-Jazeera は 0.9%となった。一方、Al-Jazeera の政治関連報道比率は 31%であり重点的に伝えていたことがわかる。この結果は、経済やビジネスに関心が高い国々や地域を対象にした欧米、アジアの局の傾向と、Al-Jazeera による政治重視の報道傾向の間に大きな違いがあることを表している。また、Al-Jazeera は、政治報道の大半を中東関連にあてており、中東向けメディアであることが報道傾向から浮かび上がった。Euronews では、ニュース総数の 26.9%が「国際機関」に関連したニュースだった。内訳をみると、EU 関連報道が大半をしめている。このことから、Euronews がヨーロッパ向けのメディアであることがうかがえる。ナショナルなニュース機関による報道では、その機関の本拠地となる国がニュース選択に影響するため当事国関連のニュースかどうかという基準が大きく反映される。しかし、Euronews は、汎ヨーロッパ向けのメディアであることから、EU 関連の報道が中心になっていると言える。

CNNI と BBCW についても違いがみられた。両局はグローバル・ジャーナリズムの実践者として注目を集めてきた。それぞれ本拠を米国と英国に置きつつも、一国の価値観に基づくニュース展開を脱するための工夫を行ってきたこともインタビュー調査から明らかになっている。内容分析の結果、BBCWの方が CNNIに比べ、本拠地、および周辺地域国のニュースをとりあげる比率が高くなっている。また、BBCWは、他国・他地域に対し広角な視点で報道することを実践する傾向がある。発表では、以上で示した特徴的な分析結果に対し、各放送局を訪問して実施したインタビュー調査から得られたデータを有機的に組み合わせながらグローバル・ジャーナリズムの報道の特徴について考察する。